

第30回有害・医療廃棄物研修会 開催のご案内

特別企画：「新型コロナ禍に負けない競争力のある医療廃棄物マネジメント」 オンライン配信

有害・医療廃棄物研究会

国は2023年春をめどに新型コロナウイルスの感染症法上の分類見直しを季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移し、医療費の公費負担を縮小する方向で検討しています。一方、医療廃棄物処理に従事する産廃処理業者は物価高騰の厳しい経営の中、競争力を高め、持続的に成長する企業戦略が求められています。そこで今回の研修会では、「新型コロナ禍に負けない競争力のある医療廃棄物マネジメント」をテーマに、参考になるアイデアを提供することを目的に企画しました。

一昨年からはじめたウェブセミナー形式（Zoom）による研修会を下記により開催することになりました。多くの皆様の参加をお待ちしております。

記

1. ライブ配信日時：2023年（令和5年）3月3日（金）14:00～17:00
（オンデマンド配信期間：3月7日（火）～3月31日（金） 複数回視聴可能）
2. 定員：100名
3. ライブ配信視聴・オンデマンド視聴の事前登録申込締切：3月1日（水）
4. 参加費：本研究会会員と会員所属の社員（後援団体会員を含む）6,000円 / 非会員 12,000円
5. 主催者：有害・医療廃棄物研究会
6. 後援：（一社）廃棄物資源循環学会、（公社）日本医師会、（公社）全国産業資源循環連合会
（公財）廃棄物・3R研究財団、（公財）産業廃棄物処理事業振興財団（依頼中）
7. プログラム

総合司会 研究会学術部員・研修会担当 石渡仁深

14:00 開 会	研究会会長 田中 勝
～14:40 「かけがえのない地球」	廃棄物工学研究所 所長 田中 勝
14:40～15:25 基調講演「産業廃棄物、特に感染性廃棄物等有害産業廃棄物の適正処理と脱炭素化に向けた取組について」	環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課 課長補佐 大野皓史
15:25～15:35 休 憩	
15:35～15:55 「医療廃棄物中間処理業の持続可能成長戦略」	株式会社シンシア品川事業所R・C営業本部 部長 平田裕二
15:55～16:15 「医療廃棄物収集運搬業の持続可能成長戦略」	コスモ理研株式会社 常務取締役 鈴木知己
16:15～16:55 「ウィズコロナと今話題の感染症について」	元国立感染症研究所 主任研究官 木ノ本雅通
16:55～17:00 閉 会	研究会副会長 木ノ本雅通

申込方法：申込書をメールにてお送りいただくと共に下記口座まで参加費をお振込み下さい。
（恐縮ですが振込手数料はご負担下さい）。

振込先：みずほ銀行 渋谷支店（普）2644901（口座名義：有害医療廃棄物研究会）

参加方法：参加者には、Zoomの接続方法および講演要旨のダウンロード方法等をメールにて別途お知らせいたします（2月28日前後を予定）。

問合せ先：有害・医療廃棄物研究会 事務局

Tel: 03-5789-2062 Fax: 03-5789-2063 E-mail: iken@tiara.ocn.ne.jp

第 30 回有害・医療廃棄物研修会 (2023/03/03)

特別企画：「新型コロナ禍に負けない競争力のある医療廃棄物マネジメント」講演概要

「かけがえのない地球 (Only One Earth)」

有害・医療廃棄物研究会会長 (廃棄物工学研究所 所長) 田中 勝

健全な地球が何時までも持続することを願って、かけがえの無い地球 (Only One Earth) をテーマとした国連人間環境会議が 1972 年 6 月 5 日に開催された。2. 公害対策基本法から環境基本法へ、将来の目標は循環、共生、参加、国際的取組、3. 地球への 3 つの危機と日本の環境立国戦略、4. Think Globally, Act Locally. 世界の潮流すなわち、SDGs、サーキュラーエコノミー、脱炭素社会を考慮しながら、生き残りのための、5. 競争力のある医療廃棄物マネジメントを考える。

基調講演

「産業廃棄物、特に感染性廃棄物等有害産業廃棄物の適正処理と、脱炭素化に向けた取組について」

環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課 課長補佐 大野 皓史

排出事業者の責務や産業廃棄物処理の適正化に向けた優良産廃処理業者認定制度等の運用によって、産業廃棄物の適正処理が推進されている。一方、産業廃棄物の処理に係わる契約において、適正処理を前提としながら、温室効果ガスの排出削減も考慮する必要がある。これらを進めていくための方向性について環境省の施策担当者からご講演いただく。

「医療廃棄物中間処理業の持続可能成長戦略」

株式会社シンシア品川事業所 R・C 営業本部 部長 平田 裕二

全ての物の値段が上がる環境の中で、医療廃棄物の中間処理の立場からどのような取り組みや工夫をされているのか。医療廃棄物処理企業として競争力を高めて生き残り、長期に持続可能な成長戦略をご紹介いただく。

「医療廃棄物収集運搬業の持続可能成長戦略」

有害・医療廃棄物研究会学術部員 (コスモ理研株式会社 常務取締役) 鈴木 知己

感染性廃棄物の容器の値上げが続いているが、収益を出すための取り組みや工夫など、収集運搬事業者として持続可能な成長戦略についてご紹介いただく。

「ウィズコロナと今話題の感染症について」

有害・医療廃棄物研究会副会長 (元国立感染症研究所 主任研究官) 木ノ本 雅通

感染症法上の新型コロナウイルスの分類の見直しや、新型コロナ感染症の今後の見通し、さらに他の感染症に対する心構えなどについて感染症の専門家からご講演いただく。

第 30 回有害・医療廃棄物研修会参加申込書

(令和 5 年 3 月 3 日(金) 開催)

申込日 年 月 日

フリガナ	会員種別 (○印をつけてください)			
氏名	1. 有害・医療廃棄物研究会会員 2. 廃棄物資源循環学会会員 3. 日本医師会会員			
会員番号	4. 全国産業資源循環連合会 (県産廃協会員) 5. 廃棄物・3R 研究財団会員 6. 産業廃棄物処理事業振興財団 7. 学 生 8. 非 会 員			
勤務先名				
所属部署名	役職			
勤務先所在地 〒				
TEL	FAX			
E-mail				
職種・業種 (○印をつけてください。回答がその他の場合は具体的に記入してください)				
医師	保健師	登録衛生検査所	処理容器製造・販売	建設業
歯科医師	助産師	収集運搬業	医薬品製造・販売	コンサルタント
獣医師	臨床検査技師	中間処理業	検査試薬製造・販売	ビルメンテナンス
薬剤師	病院事務	最終処分業	医療機器製造・販売	研究・教育機関
看護師	病院施設係	廃棄物検査分析	処理施設製造・販売	
その他 ()				
本研修会を知った理由				
1. 研究会からの案内		2. 研究会ホームページ		
3. 後援団体からの案内		4. 研究会会員の知人に聞いて		
5. 学会等の機関誌 ()		6. 雑誌・新聞 ()		
7. その他 ()				
お振込み予定日をご記入ください。※ご入金を確認できない場合はご参加いただけません。				
月 日				
※通信欄 (請求書または領収書が必要な方はご連絡下さい。領収証は講演終了後に郵送もしくはメールにてお送りいたしますので、ご希望をご記入ください。)				

【送付先】 有害・医療廃棄物研究会事務局
FAX: 03-5789-2063